

Following the town's track

広川町を 写真とともに ふりかえる

未来に向けて・・・

広川町誕生から

伝えたい歩みがある

昭和30年
[1955]

- 4月 町村合併促進法に基づき、上広川村と中広川村が合併して広川町が誕生
- 9月 国民健康保険事業を開始
- 12月 下広川村を合併編入(一部は筑後市と筑邦町へ分離)し、人口1万6241人となる
- 12月 第1回町議会議員選挙。定数上地区10人、中地区10人、下地区5人、計25人

昭和31年

- 1月 広川町第1回成人式開催

昭和32年

- 4月 広川町青年団発足
- 4月 久留米餅が国の重要無形文化財に指定される
- 5月 広川町立下広川保育所を開所
- 8月 「広報ひろかわ」創刊
- 9月 広川町母子福祉会を結成

昭和33年

- 4月 広川町商工会を設立
- 4月 広川町婦人会が発足
- 5月 上広川・中広川・下広川中学校を統合し、広川町立広川中学校を新設
- 11月 電車の廃止(久留米日吉町～八女市土橋間)

昭和34年

- 4月 国道3号吉里橋渡り初め式を行う
- 12月 町議会議員選挙が定数22人で行われる

昭和35年

- ※ この年に広川町の高齢化率が7.2%となる(国勢調査統計)

昭和36年

- 2月 下広川果樹出荷場、上広川果樹選果場建設
- 3月 稲員孫右衛門顕彰碑を建設

昭和37年

- 4月 農業協同組合有線放送電話業務を開始
- 4月 広川町スポーツ振興審議会を設置
- 10月 第1回広川町民体育祭を開催

昭和38年

- 2月 広川町体育協会を設置
- 9月 広川町老人クラブ連合会を結成

昭和39年

- 4月 3農協が合併。広川町農業協同組合を設立

昭和40年
[1965]

- 12月 合併10周年記念式典を行い、町章を制定



●広川町役場 上広川出張所(旧上広川村役場)



●広川町役場 (旧中広川村役場)



●広川町役場 下広川出張所(旧下広川村役場)

1955-1965 昭和30年～昭和40年



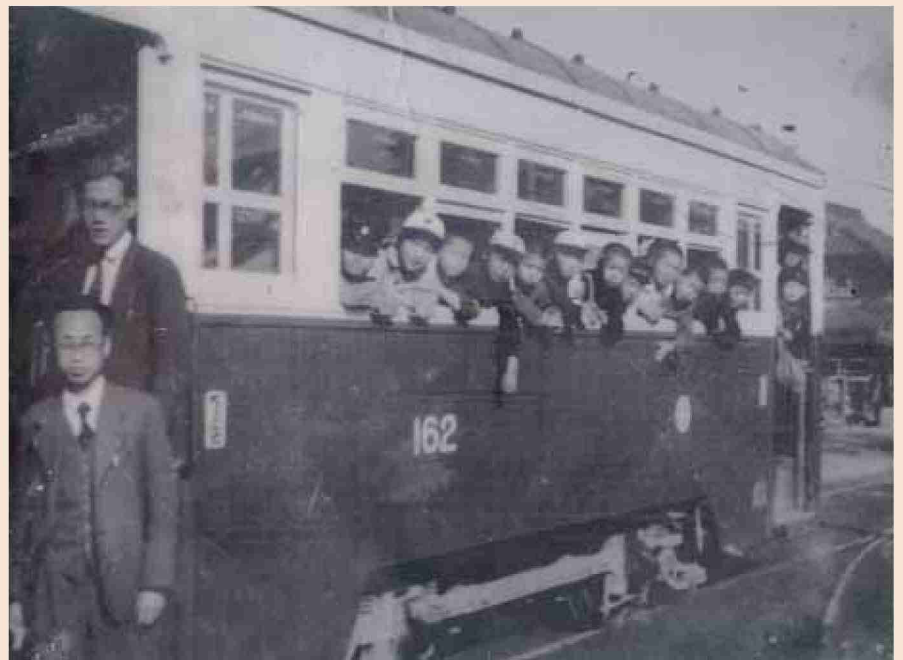
●昭和31年元旦
3村合併後最初に迎えた正月、町職員全員そろって役場正面玄関前にて記念撮影



●昭和36年 牛を使った耕作（扇島区）



●昭和31年 祇園踊記念（増永区）



●広川町内も走っていた三井電車 昭和33年11月廃止



●昭和38年の3号線



平成27年10月の3号線



●昭和36年ごろ 国道3号の様子

Following the town's track

住みよいまちへ 次代につながる 新たな創造を

ダムや道路、施設など

この時期にたくさん

整備されていきました

昭和42年
[1967]

12月 町議会議員選挙が定数18人で行われる

昭和43年

4月 上広川・下広川出張所を廃止し、行政事務を本庁に統合する

6月 町道藤田一条線、「藤原橋」竣工

7月 広川町の郵便番号が「834-01」となる

12月 広川町中央公民館竣工

昭和44年

4月 八女地区消防組合に加入

9月 八女筑後広域市町村圏の指定を受ける
(八女市・筑後市・八女郡6町村で構成)

昭和45年

1月 広川町役場新庁舎竣工
(工事費7105万円)

3月 弘化谷古墳が見つかり、石室内石屋形に彩色壁画が確認される

昭和46年

11月 広川防災ダム完工
(総事業費8億6300万円)

12月 八女消防署広川分署竣工

昭和47年

3月 八女・筑後広域市町村圏事務組合立、柔剣道場「広川武徳館」竣工

8月 一般ゴミの収集業務が始まる

9月 町道太田幹線、「東太田橋」竣工

10月 広川町区長会が結成

11月 老人憩の家竣工

昭和48年

5月 一般ゴミと粗大ゴミ収集の直営化

11月 弘化谷古墳が県指定文化財となる

11月 九州縦貫高速道(鳥栖・南関間)開通

11月 広川町社会福祉協議会が設置される

11月 第1回広川町町政功労者表彰式を行う

昭和49年

3月 八女西部清掃工場竣工

10月 広川町文化連盟を結成

11月 広川町子ども会育成会連絡協議会が発足

12月 広川町、「明るい選挙の町」を宣言

※ この年、下広川小学校創立100年を迎える

昭和50年
[1975]

7月 合併20周年を記念し、「広川音頭」の歌詞を公募で決める

7月 広川町、「非核武装」を宣言

9月 広川町鶴寿奨学会発足

9月 広川町、都市計画区域に指定

10月 合併20周年記念式典を行う



●昭和40年代 中広川小学校運動会

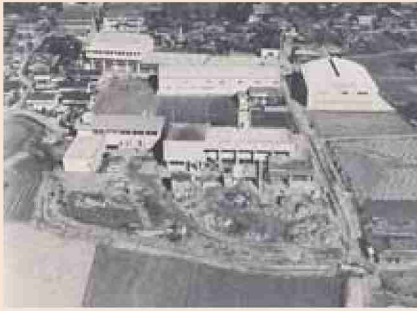


●昭和42年 竹ひごを使ったいちごの栽培



●昭和43年 藤田一条線 藤原橋 渡り初めをする堀川バス

1966-1975 昭和41年～昭和50年



●昭和45年 広川町役場新庁舎竣工



●昭和46年 完成したばかりのジャングルジムで遊ぶ子ども（古賀区）



●昭和45年 広川町庁舎新築落成記念特報



●昭和46年 広川防災ダム建設



●昭和46年 広川防災ダム完成直後の写真



●昭和48年 九州縦貫高速道、鳥栖～南関間開通



●昭和48年 老人憩の家ができて半年、お風呂でくつろぐ3人

Following the town's track

緑につつまれた、 豊かな明るい 町づくり

この時期に開発された
工業団地が広川町を
支える一翼となっています

昭和51年
[1976]

- 6月 石人山古墳所在の武装石人が国の重要文化財に指定
- 9月 第1回広川まつり開催

昭和52年

- 1月 第1回歩こう会開催
- 3月 広川町、「飲酒運転追放の町」を宣言
- 7月 善蔵塚古墳・弘化谷古墳が国の指定史跡となる

昭和53年

- 4月 川瀬区から川瀬北区が分区
- 7月 当条区「赤坂橋」竣工
- 9月 広川町土地開発公社設立

昭和54年

- 4月 広川町町民研修センター竣工
- 9月 八女西部斎場東原園竣工
- 11月 川瀬北区から緑ヶ丘区が分区

昭和55年

- 4月 広川町健康づくり推進協議会が設置される
- 6月 広川町、「暴走族追放の町」を宣言
- 6月 広川中学校柔剣道場および町民体育館竣工
- 12月 広川中核工業団地工事が着工

昭和56年

- 2月 扇島区「篠原橋」竣工
- 6月 小・中学校で米飯給食が始まる
- 11月 広川町商工会主催「第1回広川町産業まつり」開催
- ※ 第2回目から「広川まつり」と位置付けて開催

昭和57年

- 6月 広川町、「粗暴運転めいわく交通追放の町」を宣言
- 10月 広川町同和対策推進協議会を設置
- 11月 広川町青少年育成町民会議を設置

昭和58年

- 7月 広川球場完成
- 9月 町の木に「イチヨウ」、町の花に「キク」が制定

昭和59年

- 6月 広川町、「非核・恒久平和の町」を宣言
- 8月 古賀区「古賀橋」竣工
- 9月 久留米・鳥栖テクノポリス地域に指定(久留米市・鳥栖市・広川町・三潞町・基山町・中原町・北茂安町の2市5町)
- 9月 広川中核工業団地工事完了、公募を開始

昭和60年
[1985]

- 2月 第1回手づくり加工食品まつり開催
- 4月 川瀬北区から北新代区が分区
- 8月 「広川町少年の船」が沖縄県豊見城村を訪問
- 11月 町制施行30周年記念式典を行う



●昭和51年 広川町子ども会ソフトボール大会



●昭和50年代 地区のお祭り



●昭和52年 減少していく脱穀風景

1976-1985 昭和51年～昭和60年



●昭和50年代 青年団駅伝大会



●昭和52年 広川中学校 秋季体育大会



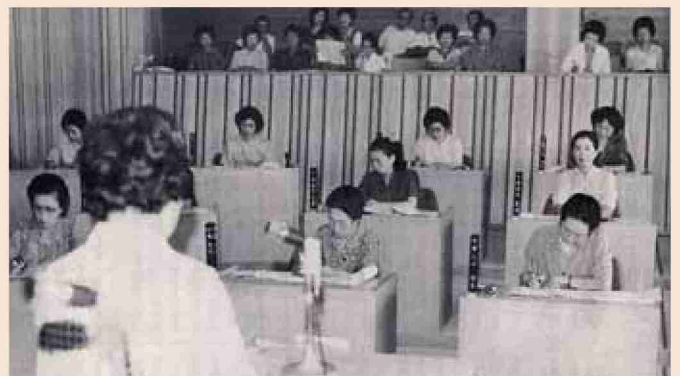
●昭和53年 桃の出荷



●昭和56年 お母さんに手を引かれて入学式へ(中広川小学校)



●昭和56年 獅子舞 (清楽茶屋区)



●昭和57年 婦人だけの町議会



●昭和58年 鯉のつかみ取り大会 (梯区プール)



●昭和59年 分譲開始前の工業団地